

北口再開発 準備組合 解散！

武蔵小金井駅



小金井で元気に！ 小金井を元気に！

五十嵐京子

通信
第49号

小金井市議会議員

2018年7月発行

五十嵐京子を支援する会

■北口のまちづくり 仕切り直し

武蔵小金井駅周辺のまちづくりを進めるために平成27年4月に結成された再開発準備組合が、今年3月に解散しました。建築費の高騰などの理由から事業が見通せない状況のことですが、事業可能な区域から事業を進めていきたいとの思いもあることです。

武蔵小金井駅北口は西友が閉店して以来、市民から不便だとの声も寄せられており、早い地域活性化の仕組みづくりが必要と考えます。国分寺では再開発で新たな駅周辺の整備が進んでおり、武蔵小金井駅南口では第二地区の再開発が2020年5月竣工予定で、工事が進んでいます。しかし、人口減少時代に突入した現在、今後計画を進めるとなると、これまでのような再開



▲西友の閉店で空きビルとなっている

発で良いのか不透明です。

しかも、まちづくりには地権者の意向が不可欠です。

北口にどのようなまちを描くのか、市民の声を聴きながら、市としても検討を進め、どのような支援が必要なのか、積極的に考えて行く必要があると考えます。

■六月議会 八日間の会期延長

六月議会の大きなテーマは、蛇の目跡地に建設予定の庁舎・福祉会館建設に関し、基本設計へと進むための関連予算が計上されたことでした。西岡市長は平成33年度竣工を何よりも優先すべきとして、準備不足のまま無理なスケジュールで提案、この定例会中、全員協議会、予算特別委員会、庁舎・福祉会館建設の特別委員会の3日間は夜まで審査が行われましたが、最終日を予定していた25日も予算の審査が終わらず、市長が答弁を保留したまま会期延長へ。29日には予算以外の議案の本会議採決をし、7月2日には再び予算委員会が開催され、市長は、市民のためにと議会からの進言を取り

ます。



▲工事が進む武蔵小金井駅南口第二地区再開発

入れることを表明しました。

(詳細は裏面に)

■三月議会で問題となった 社会福祉委員の報酬誤支給 問題、監査委員からの厳しい指摘

三月議会で、条例では月11,000円となっている社会福祉委員(民生委員等)への報酬が、24年間に渡り10,000円しか支払われなかった誤支給問題に関し、議会から監査請求をした結果が報告され、監査委員からは厳しい指摘の監査結果が報告されました。長期間に渡り誤支給が続いたことは、この間の行政・議会の関係者全てに責任はあるというものの、発覚後直ちに市議会や監査委員に報告をし、速やかに条例通り支払うべきであったとし、発覚後の迅速性を欠いた対応に対する市長の責任は重い、と指摘しています。

三月に議会が市長に対して指摘したように、たとえ、改正条例に誤記があったとしても、手続きにのっとって制定されている以上、市は報酬を本件条例上の規定通り支払わなければならない、これに従わなければ地方地自法や地方公務員法に反していると言わざるを得ないとの指摘もされました。市議会では事務検査を引き続き行っています。